

J R 芦屋駅南地区 まちづくり研究会ニュース

NO. 27
平成24年10月

発行:JR芦屋駅南地区まちづくり研究会

芦屋市長並びに芦屋市議会議員を訪問

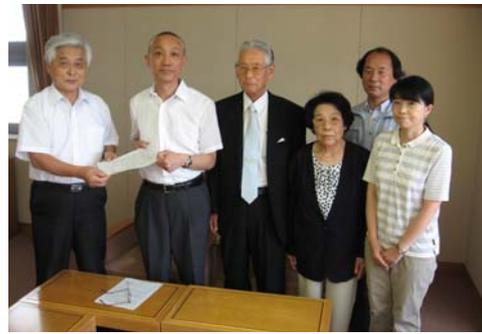
まちづくりの早期事業化について要望書を提出

秋晴の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、当まちづくり研究会では、去る、8月23日に山中健芦屋市長並びに長野良三市議会議員を訪ね、平成13年度以降延期になっている「JR芦屋駅南地区まちづくり」の早期事業化について要望書並びに申入書を提出し、私達のまちづくりに対する熱い思いを伝えました。



提出した要望書

(山中健市長に要望書提出)



(長野議長に要望書提出)

平成24年8月23日

芦屋市長 山中 健 様

J R 芦屋駅南地区まちづくり研究会

代表 喜田 清左 衛



J R 芦屋駅南地区まちづくりの早期事業化について (要望)

「J R 芦屋駅南地区まちづくり」につきまして、市長、副市長並びに担当市職員の皆様には、並々ならぬご努力を頂き、大変感謝しております。

平成13年12月に、J R 芦屋駅南地区市街地再開発事業の実施が、財政の問題を理由と致しまして延期になって以来、もう11年が経過しようとしています。

そして、「阪神・淡路大震災」より、17年が経過しようとしています。

去年、芦屋市は、「J R 芦屋駅南地区まちづくり」に大きな一歩を踏み出されました。

今、言われている「安心・安全な街」に、一歩、近づく事が出来たと大変、心強く思っております。

「J R 芦屋駅南地区まちづくり」実現には、健全な芦屋市の財政体質が不可欠であり、厳しい道程であることは十分に承知しております。

今こそ、芦屋市の未来を語り合い、「J R 芦屋駅南地区まちづくり」を早期に事業化へ、さらに大きな一歩を進めて下さいますよう、市長におかれましては引き続き、最大の熱意と努力を注いでくださることを心より要望いたします。

そして、「東日本大震災」により被災された皆様を私たちは、忘れません。

この事業を通して、「東日本大震災」により被災された皆様を勇気づける芦屋市にして頂きたいと思っております。

常に私達は、強い熱意と強烈な夢を持ちつづけております。

第22回 まちづくり研究会総会を開催

去る平成24年6月2日(土)午後2時より茶屋集会所において、第22回JR芦屋駅南地区まちづくり研究会総会を開催しました。当日は、芦屋市から岡本副市長を来賓にお迎えし、以下の項目について報告・審議され、いずれも原案どおり承認されました。

平成23年度 活動報告

年月日	事項	概要
H23.4.28	第42回世話人会	・第21回JR芦屋駅南地区まちづくり研究会総会について
H23.5.28	第21回総会	・平成22年度活動報告等について ・平成23年度世話人の承認について ・平成23年度活動計画・予算について
H23.8.23	市へ要望書 市議会へ申入書の提出	・市へ早期事業化の要望書を提出 ・市議会へ早期事業化の申入書を提出
H23.9	No.26ニュース発行	・早期事業化についての要望書を提出 ・平成23年度総会を開催

平成23年度 収支決算報告

<収入の部>

費目	決算額	摘要
補助金	15,000	市からの補助金
雑収入	0	預金利息
繰越金	4,800	平成22年度からの繰越金
合計	19,800	

<支出の部>

費目	決算額	摘要
会議費	0	
調査研究費	0	
広報費	0	
通信費	8,600	会議案内等
事務費	0	
合計	8,600	

・23年度残金 19,800-8,600 = 11,200円

・次年度繰越金 11,200円

平成24年度 まちづくり研究会 世話人

役職	氏名	役職	氏名
代表	喜田 清左衛門	世話人	河本 研一
副代表	馬淵 美代	世話人	中西 登
副代表	森 百代	世話人	大竹 吼一
会計	小材 天良	監事	南出 秀夫
世話人	喜田 和子		

平成24年度 活動計画(案)

1)まちづくりに関する調査研究、計画立案活動

- ① JR芦屋駅南地区にふさわしいまち並み誘導イメージの検討(魅力的でおしゃれなまち並みの誘導等)
- ② JR芦屋駅南地区独自のルールづくりの検討(魅力的なまち並み誘導、環境マナーの誘導等)
- ③ JR芦屋駅南地区整備促進手法の検討
- ④ その他、JR芦屋駅南地区まちづくり研究に必要なこと

2)まちづくり研究会構成員等への広報・啓発・研修活動

- ① まちづくり研究会ニュース等の広報紙の発行
- ② まちづくりに関する説明会、勉強会、懇話会等の実施
- ③ その他、研究会構成員等への広報、啓発、研修活動に必要なこと

3)まちづくり研究会の協議の運営活動等

- ① 世話人会、総会等の開催
- ② 行政との協議、調整(要望書の提出を含む)
- ③ 関係機関、各種団体等との協議、調整
- ④ その他、まちづくり研究会の協議、運営に必要なこと

平成24年度 活動予算(案)

<収入の部>

費目	予算額	摘要
補助金	15,000	市からの補助金
雑収入	1	銀行利息等
繰越金	11,200	平成23年度からの繰越金
合計	26,201	

<支出の部>

費目	予算額	摘要
会議費	4,000	全体会、世話人会等開催費用
調査研究費	4,000	検討資料作成等費用
広報費	4,000	まちづくりニュース発行等
通信費	12,000	会議案内、ニュース送付等
事務費	2,201	消耗品等
予備費	0	
合計	26,201	

.....<お問い合わせ先>.....

JR芦屋駅南地区まちづくり研究会

(事務局) ☎659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市都市環境部都市整備課

☎0797-38-2074

■お知らせ■

市では、昨年度に引続き今年度も、まちづくりに関する予算が計上されています。今年度は、昨年度行われた土地利用や交通量調査等の結果に基づき、まちづくりの事業手法や事業区域などについて、調査・検討が行われる予定です。なお、市による調査業務の契約手続は完了したとのことです。[コンサルタント会社名：(株)地域計画建築研究所(本社：京都市)]

当研究会としても、より一層の取組みが必要となってきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。